

ふかがわ 市議会 だより

議員定数2減案を可決……………2P

◆3常任委員会から「2」常任委員会へ……………3P

◆若手議員のなり手不足などから議員報酬の検討を要請…3P

第2・3回臨時会、第2回定例会

◆こんなことを審議し、決めました

可決した条例、補正予算、意見書など……………4～5P

◆一般質問……………6～13P

【TOPICS】議会報告会……………14～15P

No. 231 2018・8

発行 深川市議会 平成30年8月2日発行
編集 広報編集委員会



平成30年6月4日（月）開催 第2回議会報告会の様子（撮影者 和田議員）

Pick Up

議員発議

3 常任委員会から「2」 常任委員会へ！

賛成多数

議員定数の削減に伴い、深川市議会委員会条例の一部を改正し、常任委員会※について、現在の総務文教、社会民生、経済建設の3委員会から、「総務経済」、「厚生文教」の2委員会とし、各委員会の委員定数についても7人とするものです。

なお、新たな常任委員会における役割分担（所管事項）は下表のとおりです。

| 名称 | 所管事項 |
|-----------------------|--|
| 総務経済 常任委員会 (7人) | (1) 企画総務部の所管に属する事項 (2) 経済・地域振興部の所管に属する事項 (3) 建設水道部の所管に属する事項 (4) 会計課の所管に属する事項 (5) 選挙管理委員会、農業委員会、公平委員会及び監査委員の所管に属する事項 (6) その他、他の常任委員会の所管に属さない事項 |
| 厚生文教 常任委員会 (7人) | (1) 市民福祉部の所管に属する事項 (2) 市立病院の所管に属する事項 (3) 教育委員会の所管に属する事項 |

この条例改正は、平成31年6月18日（次の任期）から施行されます。

Pick Up

市長へ申し出

若手議員のなり手不足などから議員報酬の検討を要請！

議員定数見直しに関する意見交換会で出された意見や、議会改革特別委員会における一連の調査の中で、議員報酬のあり方について協議を重ねた結果、全国的にも問題となっている若手議員のなり手をふやすこと、議員定数の削減と常任委員会の再編により、議員1人当たりの仕事が増えることから、議員報酬の増額の検討をする内容で山下市長に対し、長野議長を初め、水上副議長、鶴岡議会改革特別委員長、太田議会改革特別副委員長より、深川市特別職報酬等審議会への諮問の検討を要請する旨の申出書を提出しました。

審議会開催の申し出



現在の議員報酬等

| 役職区分 | 月額 | 期末手当 | 率 |
|------|----------|-------|---------|
| 議長 | 376,000円 | 6月支給 | 2.125月分 |
| 副議長 | 337,000円 | 12月支給 | 2.275月分 |
| 議員 | 317,000円 | 合計 | 4.400月分 |

- ・ 議員に退職金制度はありません。
- ・ 以前は地方議員年金制度（平成23年に廃止）がありましたが、現在、専門の議員は国民年金への加入となります。



第2回定例会 6月18日～26日
議員定数条例及び委員会条例の改正!!

次期の市議選から定数14人に
議員定数2減案を可決

第2回定例会最終日の26日に、深川市議会議員定数条例の一部を改正する条例を議員発議し、定数を16人から14人に2人減とする条例改正案を賛成多数で可決しました。

■これまでの経過

市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、議員定数や常任委員会のあり方、議会情報の発信などの議会改革を協議する組織として、平成28年3月に「議会改革特別委員会」を設置し、今年の3月末までに23回の委員会を開催しました。

同特別委員会における議員定数に関する協議は、平成29年9月より開始し、現在の定数を決めた17年に比べ人口が約4,500人減っていること、人口類似市との比較、議会が持つ本来の役割を果たせる人数、常

任委員会の数などの検討を続け、本年1月には若干の削減を図る方向が特別委員会で確認されました。

この方向について特別委員会の協議に加わっていない議員にも説明し理解を得た上で、2月19日、市民の意見を直接聞くことを目的に、市内各団体との「議員定数見直しに関する意見交換会」を開催し、以降、そこで出された意見を基に協議を重ねた結果、今回、定数を2人削減することで条例改正案が可決されました。なお、新しい議員定数は、平成31年6月の任期満了に伴う市議会議員選挙から適用になります。

03 ※委員会 条例案などの詳細な審査は本会議ではなく委員会で行います。その審査結果を本会議において委員長から報告を受け、それを踏まえて本会議で採決が行われます。

第2回臨時会
第3回臨時会
第2回定例会

広域精米施設及び市立保育所の整備決定

| | | | | |
|----|------|-------|-----|-------|
| 条例 | 人事案件 | 補正予算* | 意見書 | 付議事件* |
| 4件 | 3件 | 6件 | 5件 | 12件 |

こんなことを審議し、決めました

Pick Up
補正予算 市への訴えに応じるための弁護士費用を補正

国家賠償法に基づく賠償を求める訴状が市に届いたため、これに応訴する経費として、弁護士費用42万4,000円が計上された一般会計補正予算(H30)が第2回臨時会で可決されました。(被告となった4人の議員の弁護士費用は含まれていません)

質疑 Q 市が被告とされる事件はどのようなものか。
A 市に届いた訴状の被告深川市に対する責任原因は、被告となった議員らによる平成29年第3回定例会及び第4回定例会での問責決議を提案し可決させた行為などが、国家賠償法第1条第1項の「公務員(議員)が、その職務を行う際に違法に他人に損害を加えたときは、公共団体に賠償責任が生じる」とする、この規定の違法行為があったとして、市に対し4人の被告となった議員と共同して110万円を賠償せよとの訴えです。

第2回臨時会録画中継

討論

賛成 当市議会は、議員個人の政策的見地などから個別に議案を審議し表決での意思表示を行っている。また、議会運営はいつも議会の規則により行われている。市の立場と先輩議員が積み上げてきた議会運営の事実をもって、司法の場に臨むことを求めるため賛成する。(辻本議員)

反対 今回の和田議員への問責決議に関する訴訟によって、公金を支出することは市民の同意を得ることはできないし、公金支出は原因者に負担を求めるべきだ。当市議会において、集団の常識よりも市民への良識を優先させるべきだと考えるため反対する。(佐々木議員)

Pick Up
補正予算 広域精米施設及び統合後の市立保育所の整備費用可決

J Aきたそらちによる広域精米施設整備事業に係る国庫補助金(5億円)と市補助金、深川・一已保育所統合後の保育所整備用地の取得費などが計上された合計約7億979万円の一般会計補正予算(H30)が第3回臨時会で可決されました。

広域精米施設整備
市補助金 1億1,465万円

保育所等整備
合計 8,664万円

総事業費は約10億8,000万円、上記市補助金の内、1億1,460万円は市債を充当。平成31年3月完成予定。

合計額の内、7,840万円は市債を充当。整備用地は6条11番、面積約3,400㎡、平成32年4月開園を予定。

第3回臨時会録画中継

条例

深川市税条例の一部を改正する条例
賛成多数

国保税の課税限度額引き上げ、低所得者軽減措置拡充の決定

国保税において基礎課税額の課税限度額を54万円から法令の上限額の58万円に改めるとともに、低所得者に係る国保税の軽減措置の拡充を図るため、5割及び2割軽減に係る軽減判定所得の算定方法を、法令の定めにも則して改めるものです。

深川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
賛成多数

放課後児童支援員の資格要件の拡充と明確化

同支援員資格を、①一定の実務経験があり、市長が適当と認められた者新たに加える、②教員免許の更新を受けていない場合の取り扱いを明確にするため、その表現を「教育職員免許法第4条に規定する免許状を有する者」に改めるものです。

意見書

全会一致で可決し、内閣総理大臣などに送付しました。
全会一致

北海道主要農作物種子条例の制定に関する意見書

教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)」の廃止を含めた見直しを求める意見書

教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書

2018年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

| 議決結果 | 議員名(議席番号順) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|-----|------|------|-----|------|------|---|
| | 菅原明義 | 宮澤孝司 | 松本雅祐 | 近沢弘幸 | 和田秀隆 | 佐々木一夫 | 木根昭夫 | 松原和男 | 水上真由美 | 太田幸一 | 辻本智 | 小田雅一 | 鶴岡恵司 | 長野勉 | 楠理智子 | 田中昌幸 | |
| 第2回臨時会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第3回臨時会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第2回定例会 | 深川市税条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 深川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 定住自立圏形成協定の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 定住自立圏形成協定の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 定住自立圏形成協定の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 深川市議会議員定数条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 深川市議会委員会条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※賛成=○、反対=●、除=除斥(採決に加わることができない)、長野勉議長は採決に加わりません

12人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

YouTube 深川市議会 YouTube チャンネル



くすのき りちこ 議員 (民主クラブ)

男女共同参画推進について

周知・啓発に努めていく

Q 第2次男女共同参画計画の計画期間も後半を迎えている。社会情勢も変化している中で、女性の登用拡大などの社会進出の支援や、男女共同参画の推進と今後の取り組みについて伺う。

A 市に関する審議会・委員会等への女性の登用状況については、平成30年3月末現在、33・1%となっており、深川市男女共同参画計画に掲げる目標値40%に達していませんので、引き続き目標値の実現に努めていきたく考えています。

また、男女共同参画の意識が、十分、市民に浸透しているとは言えないことから、周知・啓発についても努めていきます。

給付型の奨学金の検討について伺う

奨学金は2人に1人が借りており、返済に苦慮している人もいます。深川市の奨学金制度は、無利息だが貸与型である。給付型の奨学金の検討について伺う。

深川市男女共同参画計画：市HP



深川市男女共同参画計画



おおたこういち 議員 (新政クラブ)

市街地初等教育区域の偏り

他市の状況を調査したい

Q 深川市街地初等教育(幼児・小学教育)区域の偏りにより、今年度の新1年生は、深川小学校が35人に対し、一巳小学校は60人と差が拡大している。校区越境を他市のように著しく他校に近い場合に制限することはできないか。

A 保護者の申し立てがあった場合、通学距離による指定校の変更を認めているもので、議員が言う制限は、これまで認められていたものに制限を加えることになりません。そのような改正は難しいと考えますが、まずは他市の状況を調査したいと思います。

なお、深川市街地の小学校において、児童数のバランスが崩れるのは憂慮すべきことなので、保護者へ本来の学校への通学を検討いただくよう取り組んでいきます。

ふ・ルートのエレベーター故障理由

市道自由通路線「ふ・ルート」のエレベーターの長期故障は、いつからなのか。あわせて、改修が進まない理由を伺う。

指定校の変更(区域外就学)について：市HP



ふ・ルート



みずかみまゆみ 議員 (新政クラブ)

高等看護学院は改築すべき 改築に向けた協議を進める

Q 高等看護学院があることで、市立病院への入職者も多く有利かつ、看護師確保の上でも重要な一方で、看護師育成の教育環境整備の観点から老朽化の著しい施設の改築をすべきと考えるがどうか。

A 現在の看護学院の建物は、供用開始後46年が経過していることから、施設全体が老朽化しており、改築の必要性があるものと捉えています。

現在、看護学院の事務局を担う病院管理課と看護学院教務課において、改築に向けての調査・検討を行っているところであり、今後、市財政局などと財源確保等を含め、改築に向けた協議を進めていく考えです。

留萌本線協議スタートラインに立つ

路線存続の可能性を探ることだが、本市を含む沿線地域ではまだ協議に入っていない。5月に初めて2市2町の首長が顔を合わせ、協議のスタートラインに立つ。検討の経過と今後について伺う。

深川市立看護学院HP



看護学院生



まつもとまさひろ 議員
松本雅祐 議員
(無会派)

深川東・西高校のあり方

両高校と緊密に連携をとる

Q 配置計画案では、両校の学級減等が示され本市にとって大きな問題である。2校存続に向け、市民、同窓会、OB会など、まち全体で応援していく協議会の開催について伺う。

A 7月24日には深川市PTA連合会主催で市内公立高校説明会が計画されていきます。現状を保護者や地域の方に説明し理解を深めてもらうことで、地元にある高校の存在意義を再確認いただき、子供たちの進路選択につなげていくため、市内中学校の全ての保護者、同連合会関係者、町内会長等に参加を呼びかけると伺っています。

市としては、引き続き両高校と緊密に連携をとりながら、対策を講じていきたいと考えています。

・がん検診受診などでポイントが貯まり、商品券との交換や特典がもらえる制度導入について伺う。

今年度から、北海道と市町村及び協賛企業が連携して、市町村が実施する健康診断やがん検診、健康づくり関連事業へ参加することでポイントシールをもらい、6ポイントで協賛企業から特典がもらえるという「北海道健康マイレージ事業」を活用しています。



深川西高校



まつばらかずお 議員
松原和男 議員
(無会派)

部活参加に係る調査を

必要に応じて把握に努める

Q 経済的格差から発生する部活参加抑制をなくし、機会均等を実現させるため、部活にかかわる保護者負担の状況を継続的に調査し、把握すべきと考えるか。

A 部活動は、種目ごとに必要となる設備や備品整備に要する経費、中体連等の大会参加経費が必

要となり、市費で支出するこれらの経費とともに、必要な保護者負担により成り立っています。平成28年度の市内中学校における年間の保護者負担額としては、各部活動の平均で約26,000円、最大で年間46,000円、最小で年間5,000円でした。なお、

今後とも部活動における保護者負担については、必要に応じて状況把握に努めていきます。

保護世帯への理解と周知のための努力が必要ではないか。



市内中学校の部活動



たなかまさゆき 議員
田中昌幸 議員
(民主クラブ)

保育所整備前に人口予測を

利用希望数は増加傾向

Q 現状よりも2000人規模で就学前人口激減の可能性があるため、今後10年間の予測を立て、市全体の保育・保育所配置・定員・市立保育所のあり方を深川市子ども・子育て審議会に諮るべきではないか。

A 市立保育所の施設規模を決めるには、利用希望数の見極めが重要になります。市の分析として、出生数は減少傾向にあるものの、子育て家庭における共稼ぎが増加傾向にあるなど、利用希望数は増加傾向にあると捉えています。また、深川市保育所等整備に関する基本方針は、策定に当たり、深川市子ども・子育

て審議会において、市立保育所の現状の問題点などの審議を重ねるなど、改めたい保育所の方針について審議することは考えていません。

求められる0歳から2歳児などの受け入れ態勢を強化した保育所の設置こそが、法人保育所との競合を避け、持続可能な責任を果たすことができるかと考えるが、市長の考えを伺う。

利用者の利便性を初め、市の財政負担、法人保育所の経営等を考慮すると、市立保育所だけではなく、民間でできることは民間にもしていただくという考えを基本として、統合保育所は、市立保育所の保育方針を引き継ぐ保育所であることから、先導的な役割を担った上で、市全体で対応していくことが望ましいと考えています。



市立保育所の様子



木根昭夫 議員
(民主クラブ)

仕事を確保し、移住促進を 2人の移住者の就職を実現

Q 移住・定住施策の中で、特に若い世代に対する施策として安定した雇用が重要だ。ハローワークとは別に、深川市が独自で取り組む「無料職業紹介事業」の状況について伺う。

A 本市では昨年6月から、深川市移住定住サポートセンターにおいて、

移住希望者を対象とした無料職業紹介事業を導入し、移住コンシェルジュが市内の事業所を回り、登録をいただいた19社36件の求人情報を同センターの窓口や、移住相談会等で紹介しています。

また、今年4月からは求人情報の発信力を強化すべく、国内大手の職業紹介事業者が運営するポータルサイトに本市専用の求人ページを開設するなど、新たな取り組みを進めており、これまでに2人の移住者の就職の実現につながっています。

市立病院のがん検診等について
北空知の中核病院として、深川市民ばかりではなく、近隣町の住民のがん検診等の受け入れをしているが、収益を上げる観点から受診者数を増やすための今後の取り組みについて伺う。

本市専用の求人ページ：スタンバイHP



移住相談会



宮澤孝司 議員
(新政クラブ)

音楽活動に活性化支援策を 支援策拡大等を検討したい

Q 市内で活発に音楽活動に取り組む団体等に対し、それぞれの活動規模に合わせた助成が必要と考える。

A 文化事業開成制度を見直すことにより、広く活動を支援すべきと思うが考えを伺う。

文化事業開成制度は、芸術・文化活動振興のため、音楽、演劇等の文化公演を招致して実施した場合、公演経費が多額となることから、事業開成団体への助成を行うものです。

「多くの活動団体を支援できるように、制度の見直しをするべき」とのことですが、この助成制度の趣旨として、多くの文

化事業が開成されることは大変望ましいことですので、助成対象者の拡大等について、今後、検討していきたいと思えます。

文化事業開成助成制度：市HP



サクソ&ピアノコンサート



佐々木一夫 議員
(無党派)

各申請に個人番号記入不要 法令に基づき対応している

Q 国保だよりの中に、国民健康保険の申請に個人番号記入が義務のように書いてあるが、番号法の規定では強制力はない個人の自由意志、個人番号不記載でも受け付けることの法的根拠を伺う。

A 番号法第14条では、国や地方自治体などの個人番号利用事務等実施者

は、その事務を処理するために必要があるときは、本人に個人番号の提供を求めることができると規定されています。

申請書類等に個人番号の記載がない場合は、まず、記載し提出することを申請者に説明していただきます。

種子法廃止は、外資等民間会社に米・麦・大豆の日本の公共知見を渡すことであり、種苗法改定は、逆に外資等民間種子会社の権利の保護の強化と、農家の自家採種の規制の拡大だ。市の考えを伺う。

マイナンバー制度：国HP



種苗法改定は危険



つじもと さとし 議員 (公政クラブ)

平均寿命は管内トップに

男性80・3歳、女性86・8歳

Q 厚生労働省から完全生命表及び市区町村別生命表が公表された。その概要説明と、市民の健康推進に向けて「北海道保健統計年報」を積極的に活用すべきと考える。

A 完全生命表や市区町村別生命表は、各市区町村の死亡率を推定した数値による一覧表となつて

いるものなどで、各市区町村の死亡状況を比較する際に欠かせないものです。今回公表された本市の平均寿命は、男性80・3歳、女性86・8歳で、空知管内10市中、男性2位、女性1位となりました。また、北海道保健統計年報は、道内の保健・医療等の数値をまとめたも

ので、死亡数や死因等が示されており、本市の保健福祉水準を分析する上で貴重な資料として、健康推進事業等の参考としています。

Q 5月中旬に雨竜川の水位が上昇し、多度志地

平成27年市区町村別生命表の概況：国HP



雨竜川水位上昇による被害

区の河川流域にある農地が一部冠水する事態が発生した。行政対応と河川管理者との情報共有についての検証を求めます。

A 水位上昇等の状況把握は、ダム放水時には鷹泊発電管理事務所から一報が自治防災室に入り、深川市防災計画に基づき、氾濫注意水位に達するよ



おだまさいち 議員 (公政クラブ)

公立高校2校存続について

小中高の連携を深めたい

Q 深川西高校と深川東高校の入学者の減少が続き、定員割れが生じている。地域の人材を多く輩出している2校の存続に向けた、教育委員会のこれまでの取り組みと今後の対応を伺う。

A 進路決定には、進路相談時の中学校教諭の薦めも影響することから、

今後は、市内全小学校の校長も含めて、定期的な会合を開くなどして、小中学校及び公立高校の連携を深めていきたいと考えています。

Q 市内で10人の方が縁結びサポーターとして委

から登録手続きを簡略化し、会員数の増加に努めているところですが。今後は、それぞれのサポーターに、知人や事業所等へ定期的に足を運んでいただくなど、事業周知を改めて行い、会員増加に取り組みたいと考えています。

深川東高校HP



深川東高校の授業



わだひでたか 議員 (無会派)

会計不良の真相を究明せよ

内容に不備はなく適正処理

Q 小地域ネットワーク事業において多年度にわたり領収書等で経費を証明せず、市が補助金を支出していたことが明らかとなった。町内会等の名誉のためにも、監査などで実態を把握し、適切に処理すべき。

A 小地域ネットワーク事業は、社会福祉協議会

支出先である社会福祉協議会より事業報告書及び収支決算書が市に提出されてますので、それらの書類により、事業の実施内容及び支出内容を確認してはいますが、その内容に不備はなく、適正に処理されていることから問題ないと判断しています。

市民の選択の自由を守る内容に！

またも3月の国保だよりは、マイナンバーを利用しない市民の選択の自由という憲法で保障され、番号法でも堅持された権利を担保しない内容で、市民への差別行為である。早急に改善するべきだ。

マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)：市HP



国保だより



深川市 議会報告会

TOPICS

こんなことを
市民へ報告し
意見交換しました

6月4日（月）中央公民館において、昨年に引き続き2回目となる議会報告会を開催しました。

この議会報告会は、議会の運営状況などを市民のみなさんに報告し、議会をより身近なものに感じていただくこと。そして、市民のみなさんからの議会や市政に関する意見・提言を市政に反映させることを目的に開催するものです。

なお、今回57人の市民の方が参加されました。

TOPICS 01

委員会報告は4件

3月に開催した第1回定例会等の審査内容を報告しました。

- ① 総務文教常任委員会・・・3件
- ② 社会民生常任委員会・・・1件
- ③ 経済建設常任委員会・・・2件
- ④ 予算審査特別委員会・・・2件



TOPICS 02

議員定数削減などの協議経過を説明 議会改革をテーマとした意見交換会!!

ここが聞きたい!!
参加者からの質問＆意見を紹介（概要抜粋）

- Q 議員定数の削減理由として、主に人口が減ってきているということだが、それ以外の理由はないのか。
- A 人口が減ると、国からの地方交付税も減りますし、地域全体の経済力が減る中で、議員定数が16人のままでよいということにはならないと考えました。
- Q 今回人口減という理由だけで定数を削減するのはおかしいのではないのか。
- A 協議の中では、地理的な問題や、若い人から年配の方まで議会に参画できるよう、ある程度の議員定数が必要ではないかという意見もありましたが、最終的に約4,500人の人口が減る（現議員定数となつてから）ということは、北空知の大きな町が一つなくなるぐらいのことであり、その影響は極めて大きいと判断しました。

アンケートからの意見・要望

（概要抜粋・47人回答）

〈3月議会報告と議会改革等について〉

- ・議員定数のテーマは良い機会であった〜同意見2件
- ・定数削減は必要だが、議会改革の方が重要だと思う
- ・議会改革の取り組みについてわかりやすかった
- ・議員定数は広く市民の意見を聞くべき
- ・議員定数削減は賛成ですが、賛同が広がるよう丁寧な説明が必要だと思います
- ・議員定数2人減が最大なのか
- ・人口減少なので議員削減は当然だが、地域に偏りが生じないようにすべき
- ・市民が議会・市政に関心を持つよう努力が必要
- ・話の内容や出てくる言葉が一般の方には難しく感じました

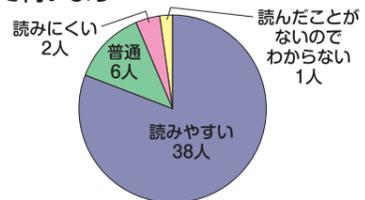
〈議員に聞いてみたいこと・知りたいことなど〉

- ・深川の将来像とプロセス、そして具体的方法をもっと知りたい
- ・一般質問の内容をもっと少し早く知ることができれば、議会への関心が高まると思う
- ・議員として市民の中にもっと入ってほしい
- ・高校生や大学生、青年会議所や農村青年部など若い方々との懇談会を開いては
- ・議員のなり手不足や地方議会の役割を話し合っては

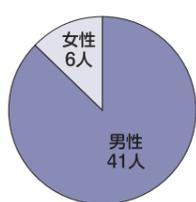
各委員会の報告内容については



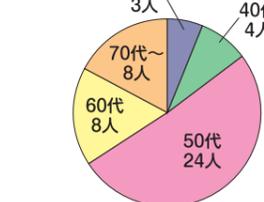
リニューアルした議会だよりについて伺います



回答者の割合

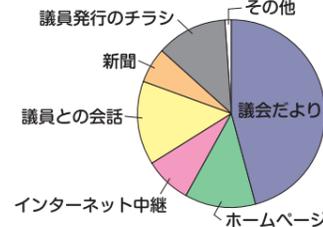


年齢構成



議会の活動情報をどのように把握されていますか（複数回答可）

- 議会だより……………45人
- ホームページ……………12人
- インターネット中継… 8人
- 議員との会話……………14人
- 新聞……………6人
- 議員発行のチラシ……………12人
- その他……………1人



長年の功績を称え 全国市議会議長会表彰

5月30日に東京で開催された第94回全国市議会議長会定期総会において、本市議会より3人の議員が表彰状及び感謝状を受けました。また、6月18日の本会議に先立ち、議場において表彰状及び感謝状の贈呈が行われました。



全国市議会議長会より表彰をいただきましたことにお礼申し上げます。

表彰に値するのかなと議員になりましたからの10年間を振り返っております。ひとえに、市民の皆様のご支援と、議員各位のご指導と支えがあつたのことに感謝しております。

そして、女性議員として、女性の目線での提言を実現させることが出来たかなとも振り返っているところです。

今後とも深川市の振興のために精一杯努めていきますので、よろしく願いたします。市議会議員 楠 理智子

○議員紹介（写真左から）

- ・楠 理智子 議員
（議員10年表彰）
- ・長野 勉 議員（現議長）
（地方財政委員会委員感謝状）
- ・水上 真由美 議員（現副議長）
（議員10年表彰）

この度の在職10年の表彰に当たり、まずもって、ご支援・ご指導をいただいた皆様に心から深く感謝とお礼を申し上げます。

思い返しますと、平成19年に深川市議会議員に初当選させていただき、今日まで議員活動を続けてこられましたのも、市民の皆様の温かいご支援と議員各位の友情とご指導のおかげであります。

今後とも、より一層深川市の発展に最善を尽くし、職務を全うすることをお誓い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。市議会議員 水上 真由美

◆ 問合せ：深川市議会事務局内 ◆

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282（直通）

 YouTube 深川市議会YouTube
チャンネル 



深川市議会
公式ホームページ

編集後記



これまで市民のみなさんから寄せられていたご意見をもとに、議会だよりを刷新し、ご好評とともに新たなご意見もいただいています。

委員会として嬉しい限りです。そして、ご意見の中で最も多く、最も困難なのが「一般の方にもわかる言葉」で伝えること。これは行政側も関係するので、どこまでできるかわかりませんが、決して今を最良とはせず、今後とも改良に努めたいと思っています。広報編集委員 和田 秀隆